

理事会便り

第23回(13期)常任理事会議事録

日時: 昭和41年4月7日(木) 16.00~18.30

出席者: 畠山, 北岡, 正野, 岸保, 桜庭, 増田, 小平, 須田, 大田, 吉野, 今井, 安藤各理事(順序不同)

場所: 東京管区気象台会議室

議決:

1. 松永賞については、その選考を学会賞、藤原賞選考委員会に依頼する。
2. 4月15日現在で41年度学会賞、藤原賞が決定される予定であるが、理事長の了解をえて部外発表してもさしつかえない。
3. 会費値上げの件に関しては、郵送料などが大幅に値上げされる見込みがないので、今総会には提出しない。
4. 研究グループ懇談会より、当学会員の日本学術会議の有権者が減少していることにかんがみ、その登録の促進方法を積極的に進めて欲しい旨の申し入れがあった。これについては、この春(41年)の総会会場で会員に協力を依頼するとともに、次期(14期)役員に当会員で未登録者のないように積極的な措置をとるように申し送る。
5. 選挙管理委員長より、第14期役員選挙に関して、沖縄在住会員、外国滞在会員、および外国人会員の選挙権、被選挙権について疑義がよせられた。これについては次のように処置する。
 - (1) 外国在住の外国人会員(沖縄在住会員を除く)には、投票に関する書類を送付しない。
 - (2) 沖縄在住会員、外国滞在会員及び日本在住の外国人会員には投票に関する書類を送付する。
 - (3) 沖縄在住会員の地方理事の投票は九州地区とする。
6. 名誉会員は通常会員より推せんすることになっているが将来外国人等も名誉会員とする可能性があることにかんがみ、その資格の範囲を拡充することが適当と考えられる。しかしこれは定款の改正を必要とするが春の総会では間に合わないので、次期役員にこの旨を申し送る。
7. 春季総会において、佐藤順一会員を名誉会員に推せんするにあたっては、その資格について次のように了承する。
 - (1) 終身であること、(2) 会費は免除とすること
8. 総会次第については、その他の項目に「学術会議有権者登録の要望」(4項関連)と「Diffusion of the Tokyo Meeting について」とを入れる。
9. この夏に開催される太平洋学術会議は、気象関係とも関連があるので、総会の理事長あいさつにこれについてふれることと、天気とその登録などの方法期日などをさらに紹介する。
10. 41年春季大会委員長は正野重方会員に依頼する。
11. 全国理事会は大会第1日めの夕刻に開催する。

月例会のお知らせ

主 題: 山の気象 (第10回山の気象シンポジウム)

会 期: 6月4日 13時から

会 場: 気象庁第1会議室

申 込 先: 東京都千代田区大手町気象庁観測部高層課 中村繁

締切期日: 5月31日(火)

なお例年、今月号には年間の月例会のスケジュールを掲載する慣例になっていますが、今年は役員改選に伴う新講演企画委員会が発足後の来月以降に掲載を変更します。

講演企画委員会